



至誠の泉

甲斐市立双葉中学校
学校だより
発行 校長 輿石 信
令和5年度 第8号
2023. 9. 21

第60回誠樹祭。笑顔と熱気があふれました。

○ 開祭式・文化の部／華やかな雰囲気になりました。

9/15(金)学園祭1日目は開祭式から始まりました。生徒会本部役員2人が「のび太とノラもん」に扮し、2050年の未来から2023年の双葉中の誠樹祭に訪れるという設定のもと、全校制作の披露、学級旗の紹介と学級の意気込みの表明、ソーラン隊による演舞、最後は生徒会長の開祭宣言と続きました。全校制作は443人の全校生徒の思いを乗せた鳥が未来に向かって羽ばたいていく様子が美しく表現され、一人一人の思いが込められた素晴らしい出来映えでした。



学級旗はいずれも力作ぞろいで学級テーマや目標が絵と文字によって伝わってきました。これからも学級のシンボル、団結の証として大切にしてほしいと思います。ソーラン隊の演舞は力強さとともに華やかさもみ見応えがあり、これから始まる誠樹祭の成功への大きなエールとなりました。開祭宣言と同時にカラーテープが発射され、2日間のフェスティバルにふさわしい華やかで賑やかな雰囲気に体育館が包まれました。

○ 文化の部／質の高い発表で盛り上がりました。

文化の部は、1年生の演劇から始まりました。学年ごと演劇のテーマは異なりましたが、いずれの学年も役者の生徒は堂々かつ迫真の演技で、最初から最後まで見る人を飽きさせない舞台になっていました。取組の過程でたくさんの試行錯誤や稽古をしたことが想像できました。役者の皆さん、本当にお疲れ様でした。また、小道具や大道具、衣装、背景画もリアリティがあり、実に完成度が高いものでした。その出来映えから製作にかけた皆さんの時間や苦労を想像することができました。どの学年の発表も、学年一人一人の生徒の力が結集されて演劇という一つの形になったものであることを実感しました。学年集団としての進歩を強く感じました。



文化部の発表では、科学部は科学が身近に感じられるパフォーマンスと生徒参加型の発表で、驚きと楽しさにあふれたものになりました。また、吹奏楽の発表は、総体の壮行会の時よりも格段に演奏の質が高くなっており、聞く人を引き込むものになっていました。アップテンポの曲では手拍子も起こり会場が一体感に包まれ、大いに盛り上がりました。文化の部という名前にふさわしい、文化の香りが感じられる1日でした。



○ 体育部門／一生懸命な姿・楽しい笑顔にあふれました。



9/16(土)秋晴れのもと、体育部門が開催されました。開会式では、生徒代表男女2人の力強い選手宣誓と実行委員長呼びかけに応える全校生徒の「おーっ」のかけ声で生徒一人一人の「やる気スイッチ」が入った感じがしました。本番までの練習は、熱中症予防とコロナ感染予防という両方に気を遣いながらの取組で大変でしたが、当日は、どの種目においても、生徒一人一人が一生懸命に取り組む姿が随所に見られました。また、学級の仲間や上級生や下級生を応援する姿、喜びを分かち合う姿、拍手、笑顔、

歓声など、普段の学校生活では見られない生き生きと躍動する姿をたくさん見ることができました。本当に美しい姿でした。生徒の皆さんの笑顔がグラウンドの至るところに咲き、コロナの制約から解放され、学園祭ができることの幸せを強く感じました。



○ 「全校ソーラン」／学校が一つになりました。

双葉中伝統の集団演技「ソーラン節」ですが、ソーラン隊隊長のかけ声のもと、全校生徒が一つになって踊る姿、「どっこいしょ、どっこいしょ」「ソーラン、ソーラン」のかけ声は大迫力で、一人一人の力が結集したエネルギーの大きなうねり、双葉中が一つになったことを感じました。伝統のバトンが確かに引き継がれた瞬間でした。会場の保護者の方からも大きな拍手が送られました。



○ この経験を次のステージへ／経験という「点」を成長という確かな「線」に。

生徒の感想からは、取組を通してクラスの絆が強まっていったこと、協力することやお互いを思いやることの大切さ、周りの人への感謝など、多くのものを学んだ様子がうかがえました。これから通常の生活に戻りますが、一人一人が誠樹祭の取組を振り返り、成果と課題を明らかにし、日々の生活に生かしていくことが大切です。その積み重ねの中にこそ一人一人の成長があります。誠樹祭で底力を見せた皆さんです。きっとできるはずです。大いに期待しています。

○ たくさんのご参観ありがとうございました。子どもたちの大きな力となりました。

両日で延べ748人（文化271人、体育477人）の保護者・ご家族の方に参観いただき、子供たちの頑張る姿や笑顔をたくさん見ていただくことができ、本当にうれしく思っています。連日の猛暑の中、感染拡大防止に努めながらの取組でしたが、子供たち一人一人は真剣かつ一生懸命に取り組んでいました。本当によく頑張ったと思います。これも各ご家庭のご理解と支えがあったのことに感謝しております。本当にありがとうございました。また、さくら連絡網でご案内した感想についてですが、予想を超える172軒のご家庭から返信をいただきました。子どものことはもちろん、職員のことにも触れ、心温まる内容のものが多く、改めて、保護者の方々に支えられて学校があることを実感しています。職員にとっても大きなエールとなります。

その中から、幾つかを紹介します。

☆2日間ありがとうございました。コロナもあり、学年閉鎖もあった中で、文化祭も体育祭も感動しました。文化祭では、舞台上に立つ人は演技も歌もダンスも努力が見られ、自分が中学生の時には、人前で歌うなんて考えられなかったので、感心させられました。また、大道具や衣装など、裏方の準備も素晴らしかったです。体育祭では、二人三脚がなんか可愛かったのと、ソーラン節は圧巻だったと、やはりリレーは盛り上がり、これまた感動しました。先生方も、旗を振ったり並走したり、みなさんで楽しんでいる様子がとても良いなあと思いました。そして、先生方のポロシャツが素敵でした。感動をありがとうございました。

☆2日間観覧させていただきました。生徒会役員や誠樹祭実行委員や携わっている生徒、先生方が一緒に楽しんで作り上げているという感じがして、私自身とても楽しかったです。爆笑あり、実験で学び、ソーランに圧倒され、応援し、私自身も双葉中の卒業生ですが、当時よりも何倍も楽しく、でも変わらずに守られているものもあり、こんな中で過ごせる生徒が羨ましかったです。1年生は今回の経験を活かして来年へ。2年生は最終学年で学校を引っ張っていく来年へ、3年生はこれから受験に向けて、それぞれ大変だと思いますが、先輩後輩が『仲間』として一丸となれる双葉中生ならきっと大変なことも乗り越えられると思います。来年もまた楽しい誠樹祭を観覧できることを楽しみにしています。

☆コロナで最初で最後の観覧になってしまいましたが、生徒も先生方も笑顔いっぱい、こちらでも楽しくなりました。吹奏楽部の演奏がまるでライブ会場火のように盛り上がり、体育祭開会式から競技中もエネルギーが爆発していてノリノリの様子、最高でした。息子はすごい楽しかった！と言っていたのでよかったです。コロナ前と同じように開催していただいて、子供たちに最高の思い出を作ってください、ありがとうございました。先生方に感謝いたします。

この他、多くの励ましの言葉をいただきました。また、開催時期や観覧席等についてもご意見をいただきました。来年度に向けて検討をしていきたいと思っております。本当に2日間ありがとうございました。